

令和5年度県民ニーズ調査(令和3年度～)結果
(調査期間R5.6.23～7.14)

3・上位3位までを記載(3位より下位は特徴があるものについて記載。)

・属性について

〈性別〉「男性」「女性」

〈年代〉「10代(18～19歳)」「20代」「30代」「40代」「50代」「60代」「70代以上」

〈職業〉「農林水産(家族従事者を含む)」「自営業・自由業(家族従事者を含む)」「企業、役所、団体などの正規職員」

「パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など」「家事専業」「学生」「無職(定年退職者を含む)」「その他」

〈子どもの有無〉「いる」「いない」

→いる人の中で 小学校入学前の子どもの有無「いる」「いない」

〈地域〉「北九州」「福岡」「筑後」「筑豊」

※このほか性別と年代を2重クロス集計している

1 新型コロナウイルス感染症の影響について

※あてはまるものすべて回答

(1) 暮らしの変化

① 本人または家族への影響

※回答率下段()書きは昨年度からの増減

順位	回答の内容	回答率	特徴
1	健康への悩みやストレスが増加した	48.5% (△1.2)	・コロナの影響に伴う様々な不安に関する回答率は全体的に減少
2	将来に対する不安が増加した	36.1% (△6.8)	・「将来に対する不安」は、進路選択時期にあたる18歳、19歳(43.0%)の回答率が最も高い
3	お金や仕事のことで悩みやストレスが増加した	26.0% (△5.4)	・「お金や仕事のことで悩む割合は、20～50代(33.3%)で高く、60代以上(18.0%)は低い
4	本人や家族の収入が減少した	21.6% (△7.8)	・調査開始から3年連続で自営業者等が選択する割合が最も高い(R3 45.1% R4 59.2% R5 45.1%)

② 悩みやストレスの相談先

1	家族や友人に相談している	74.7% (+0.2)	・女性の回答率(82.8%)が、男性(67.6%)より高い
2	病院や診療所の医師に相談している	12.2% (+1.9)	・60代(17.2%)、70代以上(20.5%)で回答率が高い
3	相談する相手がいない	10.4% (△0.6)	・男女とも50代が最も高い 男性(17.4%) 女性(12.8%)

③ 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響

1	外での飲食の機会が減少した	59.5% (△10.1)	・娯楽や社会的つながり等、外出を伴う行動制限に関する回答率は全体的に減少している
2	旅行やレジャーの機会が減少した	51.0% (△13.0)	
3	親しい人との会話や付き合いが減少した	48.9% (△13.3)	

(2) 仕事の変化

① 仕事への影響

1	影響はない	38.4% (+4.5)	・「影響はない」が4.5ポイント増加する一方、「仕事が減った」は4.2ポイントの減少となり、新型コロナウイルス感染症影響の緩和が見られる
2	仕事をしていない	20.9% (+1.1)	
3	仕事が減った	18.7% (Δ4.2)	

② 働き方への影響

1	仕事よりプライベートを重視するようになった	21.7% (+2.2)	・3年連続回答率が上昇
2	Web会議システム、デジタル化等、仕事の進め方が変わった	18.1% (Δ0.8)	・40代(28.6%)、50代(29.0%)が高く、職場におけるデジタル化の浸透が窺える
3	テレワークによる場所にとらわれない働き方を行う機会が増えた	8.5% (+1.1)	・20代(14.9%)が最も高い

2 県の施策について(行政に力を入れてほしいこと)

※2つまで回答((20)①②はそれぞれ1つまで、(25)は3つまで)

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

1	医療提供体制の強化	34.5% (+8.2)	・これまで1位だった「ワクチンの早期接種、治療薬の開発」に代わり「医療提供体制の強化」が1位となった
2	感染拡大の防止	30.1% (△4.0)	
3	ワクチンの早期接種、治療薬の開発	26.6% (△8.0)	

(2) 県の広報

1	感染症(新型コロナウイルス感染症含む)や疾病予防(熱中症など)に関する情報	39.8% (+0.4)	・3年連続、60代(47.2%)、70代(61.2%)以上の回答率が高い
2	防災情報	32.1% (+0.1)	・昨年度4位 50代(41.2%)の回答率が最も高い
3	地域のイベント・観光情報や話題などの紹介	30.6% (△1.5)	

(3) 次代を担う「人財」の育成

1	個性や能力を伸ばす教育	47.1% (△3.1)	・30代以下(57.6%)の回答率が高い
2	就業支援(職業体験・訓練など)	22.7% (△1.5)	・職業別では「パート・アルバイト、契約社員、派遣社員」(30.0%)の回答率が最も高い
3	教育格差の是正	20.1% (+0.1)	

(4) 「世界から選ばれる福岡県」の実現

1	外国語教育の推進	36.0% (+2.6)	・女性(41.5%)の回答率が、男性(29.5%)よりも高い
2	福岡県の魅力の発信	30.0% (△1.3)	・60代(32.3%)、70代以上(34.6%)の回答率が高い
3	国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展	29.0% (+0.5)	

(5) ワンヘルスの推進

1	ワンヘルスに対する理解の促進(学校におけるワンヘルスに関する教育を含む)	41.6% (△2.0)	・3年連続「理解の促進」に対する回答率が最も高い
2	自然環境の健全性を守る取組の推進	34.5% (△0.1)	
3	健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進	27.0% (+0.3)	

(6) 商工業

1	中小企業・小規模事業者の支援(資金調達、商品開発、販路拡大など)	45.6% (+0.6)	・自営業等(59.2%)の回答率が最も高い
2	商店街の活性化	34.1% (△0.2)	
3	成長が期待される産業の振興(自動車、ロボット、人工知能など)	29.7% (+0.7)	・20代(38.9%)の回答率が最も高い

(7) 農林水産業

1	安全で安心な農林水産物を提供すること	39.2% (△2.0)	・3年連続で回答率に大きな変化は見られず回答率が最も高い。
2	新たな担い手を確保し、育成すること	36.8% (+2.8)	・農林水産業者(46.4%)の回答率が最も高い
3	食の大切さを教育すること	18.2% (△0.7)	・女性(22.7%)の回答率が、男性(13.1%)より高い

(8) 観光

1	良好で美しい景観づくりや街並みの整備	35.0% (+1.9)	・3年連続で回答率に大きな変化は見られない中、「観光地へのアクセス向上」の回答率が上昇している
2	受入環境の整備(観光案内、駐車場、Wi-fi、感染症対策など)	31.2% (△1.2)	
3	観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備)	25.0% (+2.8)	

(9) 雇用・働き方

1	若者の就職支援	23.3% (△2.5)	・10代(31.8%)20代(36.9%)で回答率が高い
2	正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善	22.5% (△1.3)	・40代以上(26.8%)で回答率が高い
3	中高年の就職支援	22.3% (+1.3)	・4位から3位に上昇し50代(30.1%)、60代(30.8%)で回答率が高い

(10) デジタル化

1	行政手続きのオンライン化	42.0% (△0.2)	・50代以下(54.4%、+4.2)の回答率が高い一方で、60代(33.5%)、70代(23.2%)の回答率が低い
2	ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化	40.4% (+0.7)	・70代以上(52.4%)の回答率が高く、筑後地域の回答率が高い
3	ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進	30.3% (△1.1)	・60代(37.0%)の回答率が高い

(11) 保健・医療

1	医療・看護を担う人材の育成・確保	34.3% (+2.2)	・年代が上がるほど回答率が高く、70代以上(42.6%)が最も高い
2	自主的な健康づくりの支援	29.0% (△0.8)	
3	こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策	26.1% (△3.1)	・女性の回答率が6.7ポイント減(R4 34.4%→R5 27.7%)

(12) スポーツ

1	年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保	51.5% (△4.2)	・性別ごとの回答率が高いもの 男性 1 年齢や性別・・(44.6%) 2 スポーツ施設の充実(42.9%) 3 健全性の向上(24.5%)
2	スポーツ施設の充実	42.8% (+2.4)	女性 1 年齢や性別・・(56.6%) 2 スポーツ施設の充実(43.9%) 3 健全性の向上(26.8%)
3	スポーツにおける健全性の向上(体罰、暴力、ハラスメント等の防止)	26.8% (△2.6)	

(13) 文化

1	文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実	54.0% (△0.5)	・性別ごとの回答率が高いもの 男性 1 鑑賞・体験する機会の充実(45.5%) 2 地域文化の継承・・(31.6%) 3 文化芸術、産業・観光等の振興(30.6%)
2	文化施設(美術館、博物館など)の充実	30.7% (+0.3)	女性 1 鑑賞・体験する機会の充実(63.1%) 2 文化施設の充実(32.1%) 3 地域文化の継承・・(24.9%)
3	地域文化の継承、文化財の保存活用	27.8% (△1.5)	

(14) 高齢者

1	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援(医療、介護、予防、住まい、生活支援などサービスの一体的な提供)	52.7% (△3.3)	・60代(61.9%)70代以上(64.6%)で回答率が高い
2	介護する家族の負担軽減	41.6% (+1.0)	・60代(28.2%)70代(30.4%)以外の年代で回答率が高く、特に30~40代女性の回答率が高い(60.1%)
3	再就職や社会参加(ボランティア、スポーツ、文化活動など)の支援	19.9% (△1.7)	

(15) 障がいのある人

1	障がいのある人の就職支援	41.7% (+1.7)	・属性による回答率のばらつきはなく最も高い
2	快適に暮らせるまちづくり(住宅の整備、バリアフリーなど)	31.2% (+1.0)	・60代(35.6%)、70代以上(32.9%)の回答率が高い
3	障がいのある人の社会参加	28.0% (△0.6)	

(16) 人権

1	犯罪の取締り強化	37.3% (△0.6)	・小学校入学前の子どもがいる人(43.0%)の回答率が高い
2	学校内外の人権教育の充実	32.9% (△0.5)	・小学校入学前の子どもがいる人(43.6%)の回答率が高い
3	人権が侵害された被害者の救済・支援の充実	30.1% (+0.8)	・学生(39.4%)の回答率が高い

(17) 国際交流

1	専門分野の交流(スポーツ、環境、ビジネスなど)	31.1% (+0.7)	・昨年度2位であり、30代男性の回答率が最も高い(40.5%)
2	外国人が国内で暮らしやすい環境づくり	28.2% (△2.9)	
3	外国語や諸外国の文化、制度等の学習	25.7% (△0.9)	・女性(29.2%)の回答率が、男性(22.2%)よりも高い

(18) 防犯・交通安全

1	飲酒運転撲滅対策の推進(飲酒運転撲滅に向けた取り締り・交通安全教育など)	32.0%	・性別ごとの回答率の高いもの 男性
2	児童虐待・ストーカー・DV対策の推進	29.5%	1 飲酒運転・・・(36.3%) 2 ニセ電話詐欺(26.4%) 3 児童虐待・・・(22.0%)
3	性犯罪、痴漢・盗撮等性暴力根絶対策の推進	25.8%	女性 1 児童虐待・・・(37.1%) 2 性犯罪・・・(30.1%) 3 飲酒運転・・・(27.9%)
4	ニセ電話詐欺等の特殊詐欺対策の推進(被害防止活動、取締りなど)	25.5%	・60代(30.7%)、70代以上(37.5%)の回答率が高い

※選択肢変更に伴い前年度比較の記載なし

(19) 地域振興

1	地域の雇用の創出につながる企業の誘致	44.5% (△0.9)	・3年連続回答率が最も高く、40代～60代(47.5%)の回答率が高い
2	通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備	35.6% (+1.2)	・20代(45.6%)、30代(42.3%)の回答率が高い
3	医療提供体制の確保	25.3% (△0.6)	

(20) 移住・定住、企業誘致

①移住・定住

1	移住先での就職支援	29.6% (△1.7)	・40代～60代(33.9%)の回答率が高くなっている
2	移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実	22.8% (△1.5)	・60代(32.0%)、70代以上(32.1%)の回答率が高い
3	県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信	16.2% (+2.5)	・30代(24.0%)の回答率が高い
3	人材不足分野へ就職する場合の移住支援金の支給	16.2% (+0.4)	

②企業誘致

1	移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実	32.0% (+0.5)	・40代以上(34.2%)の回答率が高い
2	県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信	19.4% (+0.6)	・年々回答率が上昇している
3	企業の移転先での優秀な人材の確保	16.9% (△1.5)	・学生(25.7%)の回答率が最も高い

(21) グリーン社会

1	太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大	39.5% (△2.2)	・3年連続で回答率が高く、10代～30代(39.7%)の回答率が高い
2	省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進	37.9% (△0.1)	・年代を問わず回答率が高い
3	電気・ガスの使用量削減など家庭における取組の推進	33.6% (+3.6)	・原油価格等、エネルギー価格が高騰する中、昨年度4位から上昇

(22) 教育

1	道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育	45.4% (+0.3)	・小学校入学前の子どもがいる人(51.9%)の回答率が高い
2	いじめ、不登校への対応	32.5% (△1.2)	・学生(43.7%)の回答率が高い
3	教職員の育成	31.8% (+1.0)	・令和3年度から、3年連続で回答率が上昇している

(23) 子育て支援

1	女性が結婚や出産後も家事・子育てをしながら働き続けることができる職場づくり	36.1%	・子育て世代(20~40代)の回答率 1 経済的負担の軽減(32.4%) 2 女性が働き続けられる職場づくり(28.2%) 3 多様な保育サービスの充実(23.5%)
2	子どもが安心して過ごすことができる居場所づくり(放課後児童クラブ、子ども食堂、学習支援の場など)	28.8%	
3	多様な保育サービスの充実(延長保育、休日・夜間保育など)	23.2%	
4	子育て家庭への経済的負担の軽減	20.2%	

※選択肢変更に伴い前年度比較の記載なし

(24) 防災(有効だと思う情報発信手段)

1	防災メールや防災アプリ	67.0% (△0.4)	・性別、年代、職業、地域問わず回答率が高い
2	防災行政無線(屋外スピーカー)	37.2% (△2.7)	
3	防災行政無線(戸別受信機)	25.3% (△2.8)	・60代(31.1%)、70代以上(37.6%)の回答率が高く、10代(8.8%)、20代(8.6%)以下では低い
4	ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディア	20.3% (△0.3)	・30代以下(40.0%)の回答率が高い一方で、60代(14.0%)、70代(10.0%)以上では低い

(25) 行政に力を入れてほしい分野

1	雇用・働き方	35.9% (+3.1)	<p>【性別】 男性 1 雇用・働き方 2 子育て支援 3 保健・医療 女性 1 雇用・働き方 2 子育て支援 3 保健・医療</p> <p>【年代別】 10代 1 観光 2 子育て支援 3 雇用・働き方 20代 1 子育て支援 2 雇用・働き方 3 保健・医療 30代 1 子育て支援 2 雇用・働き方 3 保健・医療 40代 1 雇用・働き方 2 子育て支援 3 保健・医療 50代 1 雇用・働き方 2 防犯・交通安全 3 保健・医療 60代 1 高齢者 2 保健・医療 3 雇用・働き方 70代 1 高齢者 2 保健・医療 3 防犯・交通安全</p> <p>【地域別】 北九州 1 雇用・働き方 2 保健・医療 3 子育て支援 福岡 1 雇用・働き方 2 保健・医療 3 子育て支援 筑豊 1 雇用・働き方 2 子育て支援 3 保健・医療 筑後 1 雇用・働き方 2 子育て支援 3 保健・医療</p> <p>【R4年度順位】 1 雇用・働き方 2 子育て支援 3 保健・医療 4 高齢者 5 防犯・交通安全 6 教育</p>
2	保健・医療	30.1% (△0.3)	
3	子育て支援	29.5% (△3.1)	
4	高齢者	26.6% (+1.0)	
5	防犯・交通安全	25.2% (+3.4)	
6	教育	16.5% (△0.1)	
7	防災	14.1% (+1.1)	
8	農林水産業	12.9% (△1.1)	
9	地域振興	10.8% (△1.3)	
10	観光	10.3% (+1.3)	
11	障がいのある人	8.5% (△0.8)	
12	移住・定住、企業誘致	8.4% (△1.9)	
13	商工業	8.2% (△1.1)	
14	デジタル化	7.4% (△0.4)	
15	グリーン社会	5.5% (△0.8)	
16	人権	5.4% (△0.5)	
17	国際交流	5.3% (+1.0)	
18	文化	4.5% (△0.7)	
19	スポーツ	3.7% (△1.0)	